

高知労働局発表

令和5年5月31日

報道関係者 各位

【照会先】

高知労働局職業安定部職業対策課
課長 葛目 貴久
地方障害者雇用担当官 安田 敏恵
(電話) 088-885-6052

令和4年度 ハローワークを通じた障害者の職業紹介状況等

高知労働局（局長 中村 克美）は、令和4年度の高知県の障害者職業紹介状況を取りまとめましたので発表します。

1 新規求職申込件数は1,335件で、対前年度比0.8%の増（第1表、第1図参照）

内訳をみると身体障害者は350件(2.3%増)、知的障害者は220件(1.4%増)、精神障害者は638件(5.5%増)、その他の障害者は127件(21.1%減)であり、対前年度比でその他の障害者の新規求職申込件数のみ減少した。

（第2表～第5表、第2図～第4図参照）

2 就職件数は680件で、対前年度比10.2%の増（第1表、第1図参照）

(1) 内訳をみると身体障害者は151件(7.9%増)、知的障害者は108件(9.2%減)、精神障害者は370件(25.0%増)、その他の障害者は51件(17.7%減)であり、精神障害者の就職件数が11年連続で最も多かった。

（第2表～第5表、第2図～第4図参照）

(2) 就職率（就職件数／新規求職申込件数）は50.9%で前年度より4.3ポイント上昇。

（第1表～第5表、第2図～第4図参照）

(3) 産業別でみると、「医療・福祉」（199件）、「公務・その他」（88件）、「卸売業・小売業」（86件）、「製造業」（65件）での就職件数が増えている。

（第6図、第7図参照）

3 解雇者数は31人であり、前年度の5人から増加。

（第7表、第8図参照）

○今後の取組について

高知労働局管内の就職件数は、昨年度に続き2年連続で対前年度比増（10.2%増）となった。全国の就職件数は、2年連続で対前年度比増（6.6%増）となった。

特に、就職件数のうち54.4%が精神障害者で、精神障害者の就職件数は対前年比25.0%増となった。手帳取得者の増加、精神障害者の求職申込が他の障害種別に比べ増加していること、求人数がコロナ禍以前の数値に改善していることによると考えられる。

障害者の就職先として高い割合を占める「医療・福祉」「卸売業・小売業」「製造業」「サービス業」はコロナ禍の影響を受けた産業であるが、令和4年度は求人数が増加したことも影響している。

解雇者数は、31人と前年より26人増加となった。

高知労働局及びハローワークは、令和6年4月から障害者雇用率が段階的に引き上げられることから、就職面接会の開催や、障害者職業センター、高知県、障害者就業・生活支援センターなど地域の関係機関と連携し、求職者の障害の特性や強みを踏まえた職業相談・職業紹介や職場定着支援を行うとともに、全ての雇用率未達成企業への指導、支援の強化に積極的に取り組むほか、企業等を対象としたセミナー等を開催し、障害者雇用に対する理解の促進を図り、また、様々な機会を捉え、障害者雇用率改定の周知、障害者雇用の質の向上に関する周知・助言・指導、もにす認定制度の周知、障害者に対する差別禁止・合理的配慮の提供義務に係る制度の周知を行っていく。

<参考> 全国の障害者職業紹介状況等

- ・新規求職申込件数は233,434件で、対前年度比4.2%の増。
- ・就職件数は102,537件で、対前年度比6.6%の増。コロナ禍以前の令和元年度（103,163件）に近い水準まで改善した。
- ・就職率（就職件数／新規求職申込件数）は43.9%で対前年度差1.0ポイントの増となった。
- ・産業別で見ると、「医療・福祉」（39,122件）、「製造業」（12,765件）「卸売業・小売業」（11,222件）での就職件数が多くなっている。
- ・解雇者数は1,605人。（前年度は1,656人）

<用語の解説>

●新規求職申込件数

期間中に新たに受け付けた求職申し込みの件数をいう。

●就職率

新規求職申込件数に対する就職件数の割合をいい、「就職件数」を「新規求職申込件数」で除して得た値。

●その他の障害者

身体障害者、知的障害者及び精神障害者以外の障害者。

(発達障害者、高次脳機能障害者、難治性疾患患者等である)

障害者の職業紹介状況

1. 全体

第1表 障害者の職業紹介状況（全数）

年度	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率（③/①）	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
25年度	1,016	8.0%	1,422	11.4%	467	0.6%	46.0%	△ 3.3
26年度	1,009	△0.7%	1,530	7.6%	469	0.4%	46.5%	0.5
27年度	1,023	1.4%	1,495	△2.3%	503	7.2%	49.2%	2.7
28年度	1,090	6.5%	1,645	10.0%	525	4.4%	48.2%	△ 1.0
29年度	1,176	7.9%	1,710	4.0%	567	8.0%	48.2%	0.0
30年度	1,177	0.1%	1,791	4.7%	598	5.5%	50.8%	2.6
元年度	1,310	11.3%	1,934	8.0%	617	3.2%	47.1%	△ 3.7
2年度	1,479	12.9%	2,232	15.4%	565	△8.4%	38.2%	△ 8.9
3年度	1,325	△10.4%	2,393	7.2%	617	9.2%	46.6%	8.4
4年度	1,335	0.8%	2,425	1.3%	680	10.2%	50.9%	4.3

※「有効求職者数」＝各年度末現在の数、他は年度累計

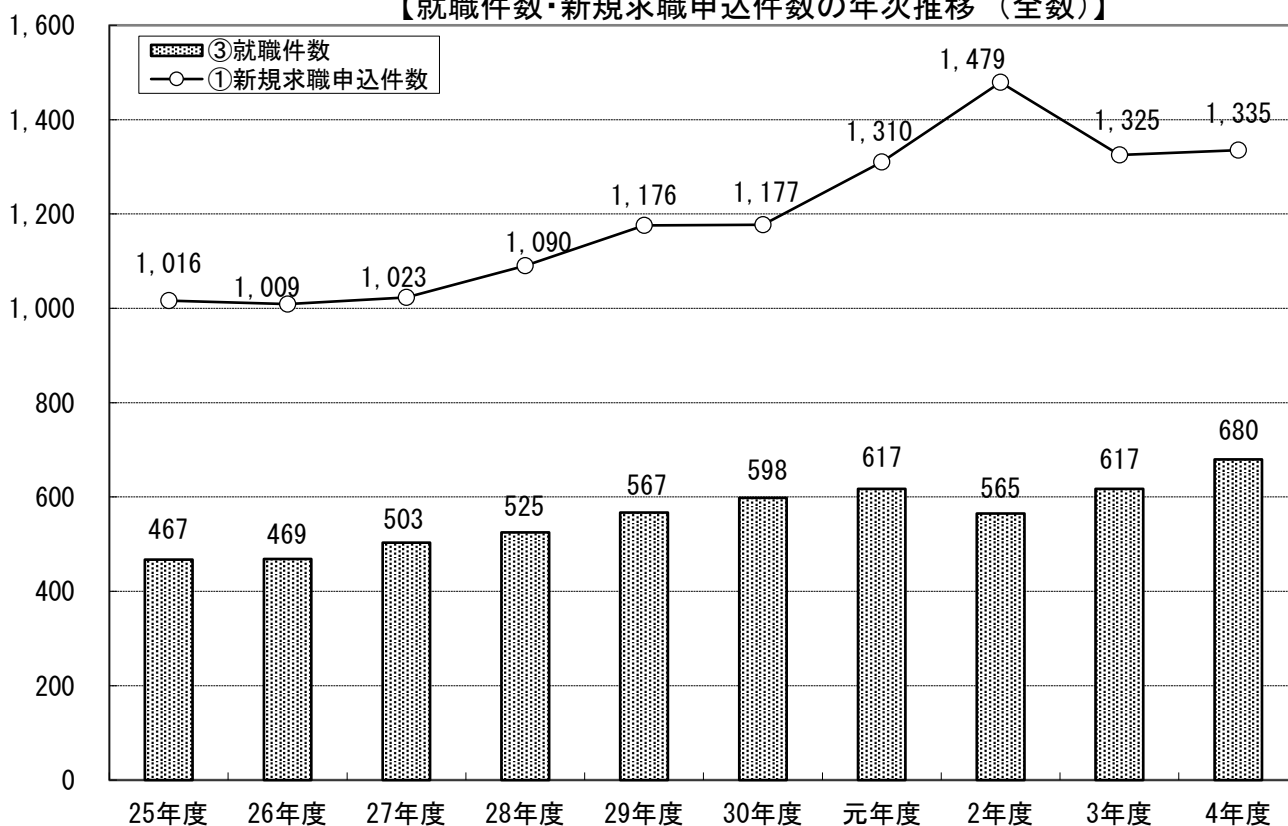
(注) 表中の「①新規求職申込件数」の令和3年度以降の数値には、令和3年9月より開始されたハローワークインターネットサービスにより新規求職申込を行った者（同月中に来所した者を除く）の件数（オンライン新規求職申込件数：令和3年度3件、令和4年18件）は計上していない。（次頁以降も同じ）

(注) 表中の「②有効求職者」の令和3年度以降の数値には、オンライン新規求職申込後も来所せずに求職活動を行う者（オンライン登録者の有効求職者数：令和3年度2人、令和4年度5人）は計上していない。（次頁以降も同じ）

(注) 表中の「③就職件数」には、ハローワークインターネットサービスのオンライン自主応募（ハローワークの職業紹介を経ずに直接応募できる機能を利用したこと）による就職件数は計上していない。（次頁以降も同じ）

第1図

【就職件数・新規求職申込件数の年次推移（全数）】



2. 障害種別

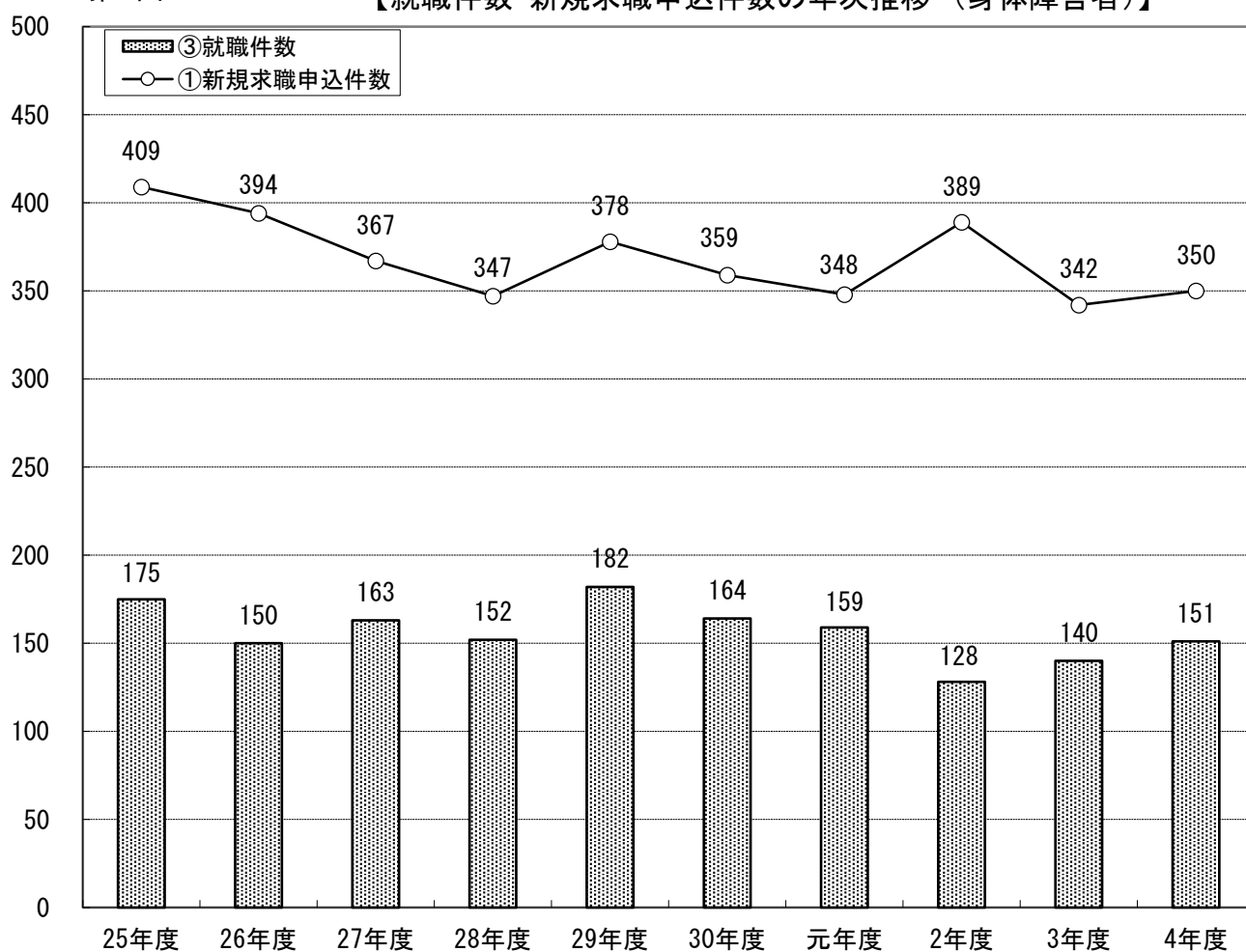
第2表 障害者の職業紹介状況（身体障害者）

年度	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率（③/①）	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
25年度	409	7.3%	701	9.0%	175	12.9%	42.8%	2.1
26年度	394	△3.7%	707	0.9%	150	△14.3%	38.1%	△4.7
27年度	367	△6.9%	625	△11.6%	163	8.7%	44.4%	6.3
28年度	347	△5.4%	636	1.8%	152	△6.7%	43.8%	△0.6
29年度	378	8.9%	636	0.0%	182	19.7%	48.1%	4.3
30年度	359	△5.0%	643	1.1%	164	△9.9%	45.7%	△2.4
元年度	348	△3.1%	687	6.8%	159	△3.0%	45.7%	0.0
2年度	389	11.8%	784	14.1%	128	△19.5%	32.9%	△12.8
3年度	342	△12.1%	791	0.9%	140	9.4%	40.9%	8.0
4年度	350	2.3%	813	2.8%	151	7.9%	43.1%	2.2

※「有効求職者数」＝各年度末現在の数、他は年度累計

第2図

【就職件数・新規求職申込件数の年次推移（身体障害者）】

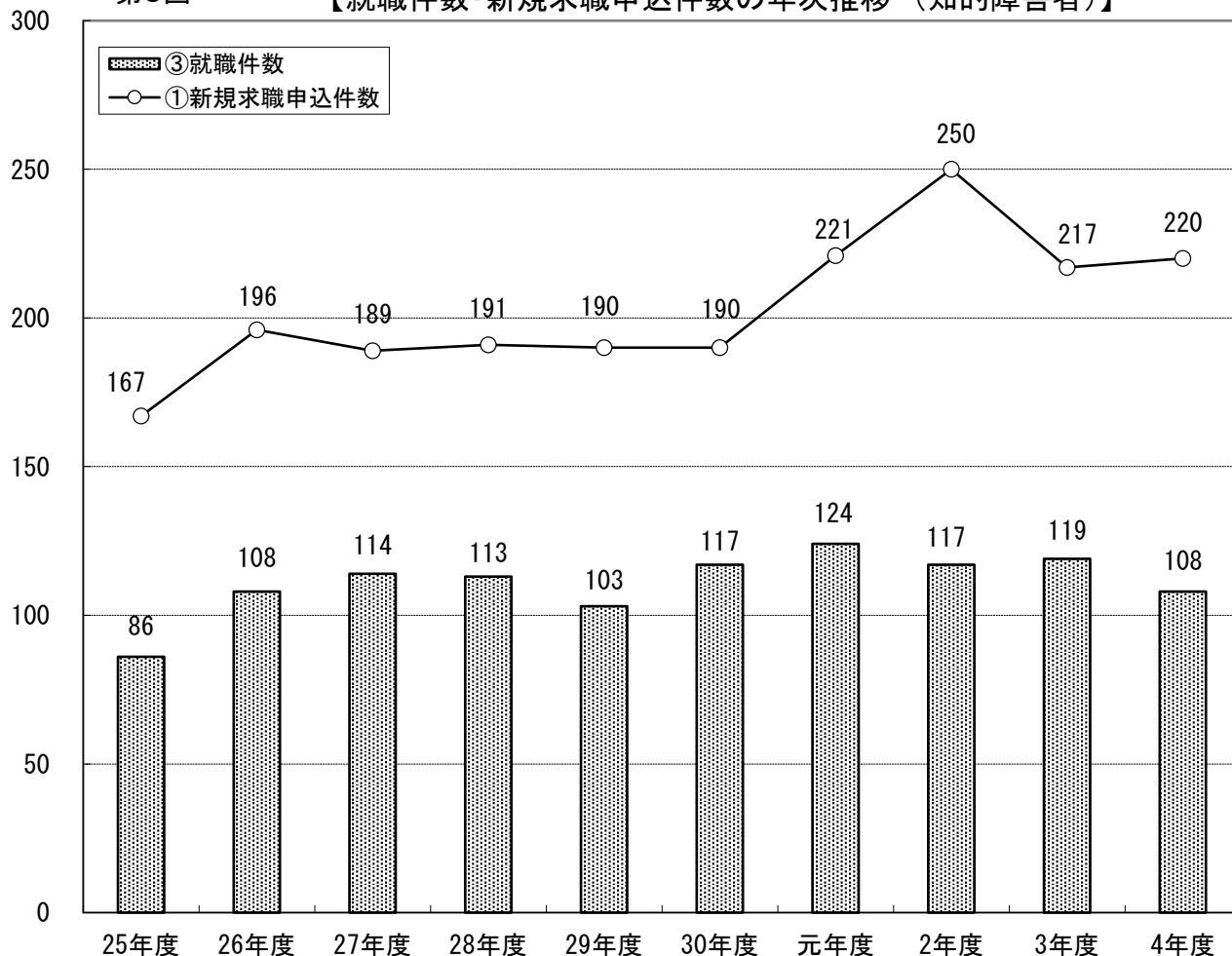


第3表 障害者の職業紹介状況（知的障害者）

年度	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率（③/①）	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
25年度	167	0.6%	241	12.6%	86	△21.1%	51.5%	△ 14.2
26年度	196	17.4%	273	13.3%	108	25.6%	55.1%	3.6
27年度	189	△3.6%	278	1.8%	114	5.6%	60.3%	5.2
28年度	191	1.1%	322	15.8%	113	△0.9%	59.2%	△ 1.1
29年度	190	△0.5%	313	△2.8%	103	△8.8%	54.2%	△ 5.0
30年度	190	0.0%	324	3.5%	117	13.6%	61.6%	7.4
元年度	221	16.3%	329	1.5%	124	6.0%	56.1%	△ 5.5
2年度	250	13.1%	352	7.0%	117	△5.6%	46.8%	△ 9.3
3年度	217	△13.2%	365	3.7%	119	1.7%	54.8%	8.0
4年度	220	1.4%	369	1.1%	108	△9.2%	49.1%	△ 5.7

※「有効求職者数」＝各年度末現在の数、他は年度累計

第3図 【就職件数・新規求職申込件数の年次推移（知的障害者）】

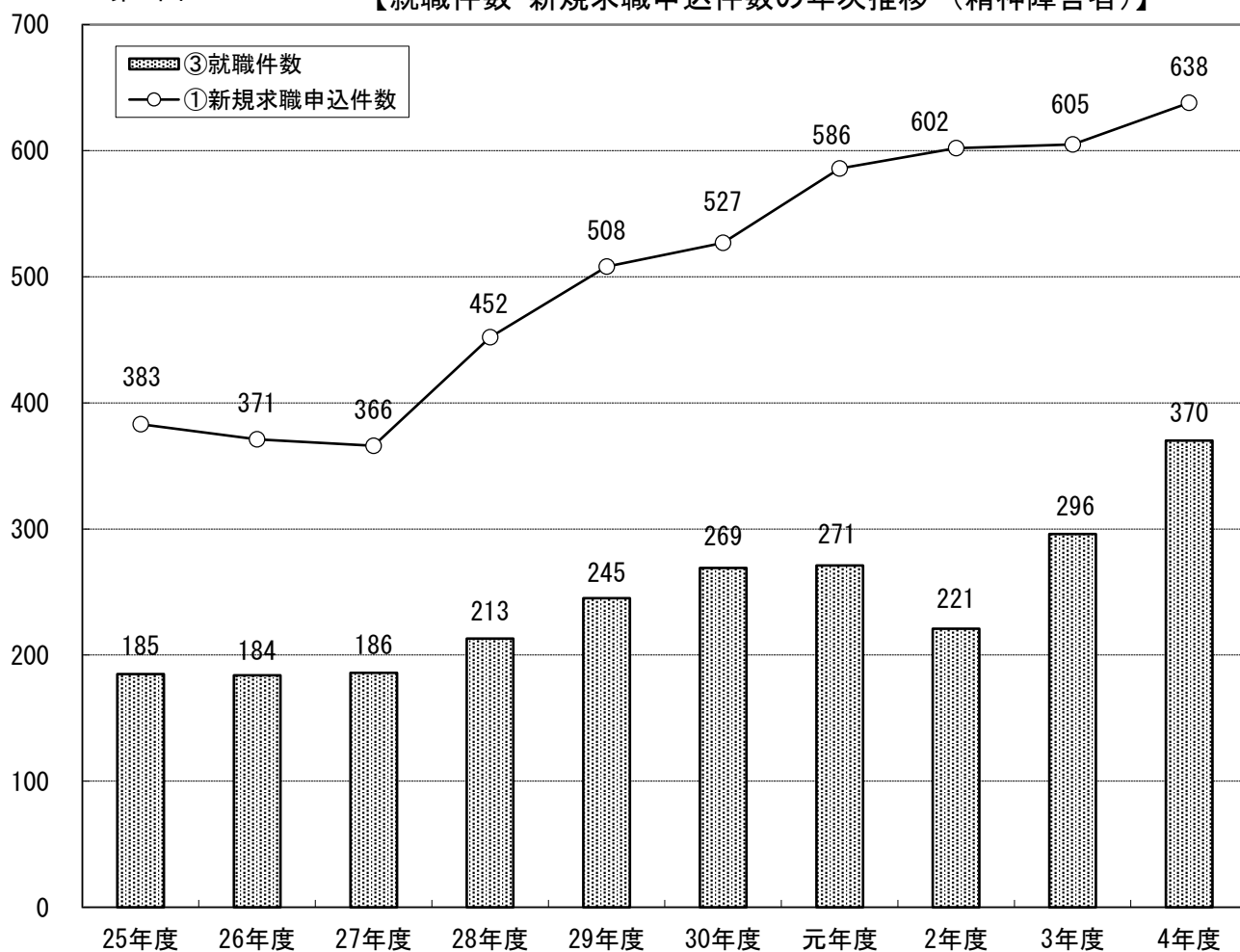


第4表 障害者の職業紹介状況（精神障害者）

年度	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率（③/①）	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
25年度	383	11.0%	429	10.9%	185	3.9%	48.3%	△ 3.3
26年度	371	△3.1%	494	15.2%	184	△0.5%	49.6%	1.3
27年度	366	△1.3%	506	2.4%	186	1.1%	50.8%	1.2
28年度	452	23.5%	589	16.4%	213	14.5%	47.1%	△ 3.7
29年度	508	12.4%	645	9.5%	245	15.0%	48.2%	1.1
30年度	527	3.7%	718	11.3%	269	9.8%	51.0%	2.8
元年度	586	11.2%	758	5.6%	271	0.7%	46.2%	△ 4.8
2年度	602	2.7%	802	5.8%	221	△18.5%	36.7%	△ 9.5
3年度	605	0.5%	999	24.6%	296	33.9%	48.9%	12.2
4年度	638	5.5%	1,061	6.2%	370	25.0%	58.0%	9.1

※ 「有効求職者数」＝各年度末現在の数、他は年度累計

第4図 【就職件数・新規求職申込件数の年次推移（精神障害者）】



第5表 障害者の職業紹介状況（その他の障害者）

年度	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率（③/①）	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
25年度	57	16.3%	52	62.5%	21	△4.5%	36.8%	△ 8.1
26年度	48	△15.8%	63	21.2%	27	28.6%	56.3%	19.5
27年度	101	110.4%	91	44.4%	40	48.1%	39.6%	△ 16.7
28年度	100	△1.0%	98	7.7%	47	17.5%	47.0%	7.4
29年度	100	0.0%	116	18.4%	37	△21.3%	37.0%	△ 10.0
30年度	101	1.0%	106	△8.6%	48	29.7%	47.5%	10.5
元年度	155	53.5%	160	50.9%	63	31.3%	40.6%	△ 6.9
2年度	238	53.5%	294	83.8%	99	57.1%	41.6%	1.0
3年度	161	△32.4%	238	△19.0%	62	△37.4%	38.5%	△ 3.1
4年度	127	△21.1%	182	△23.5%	51	△17.7%	40.2%	1.7

※1 「有効求職者数」＝各年度末現在の数、他は年度累計

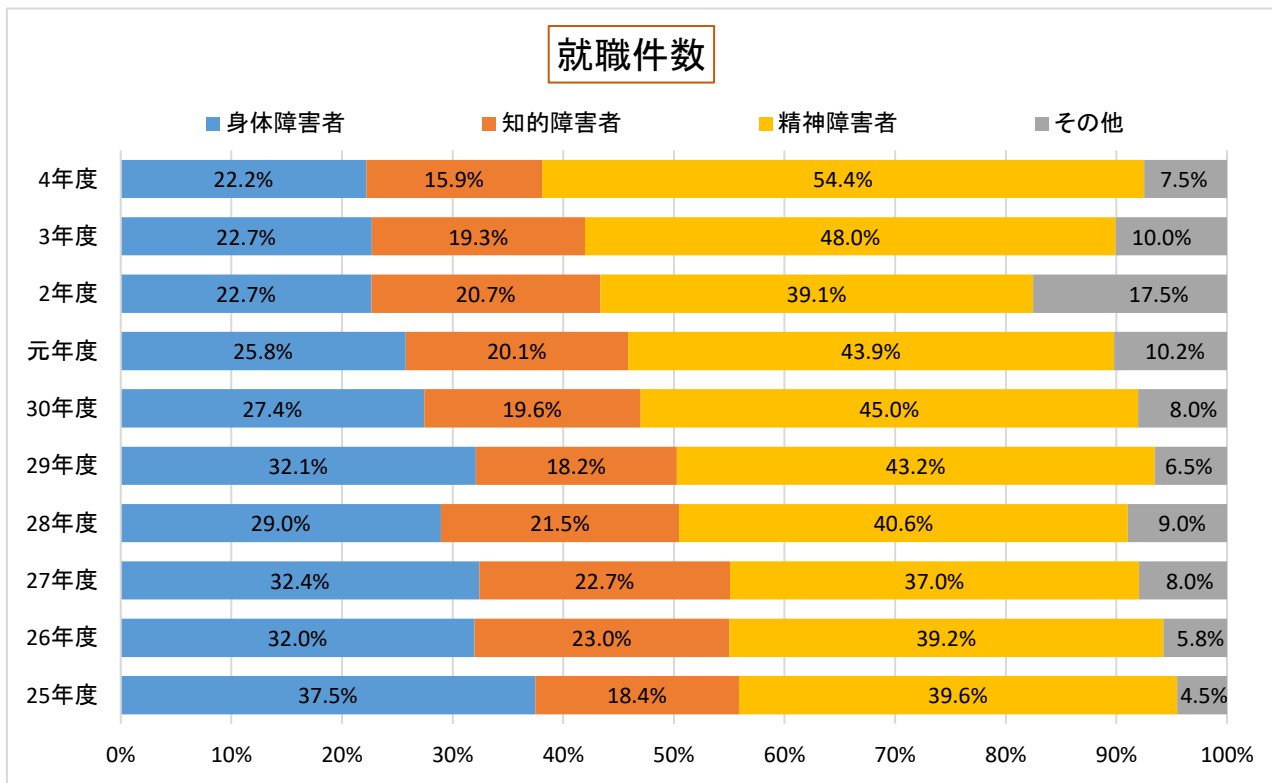
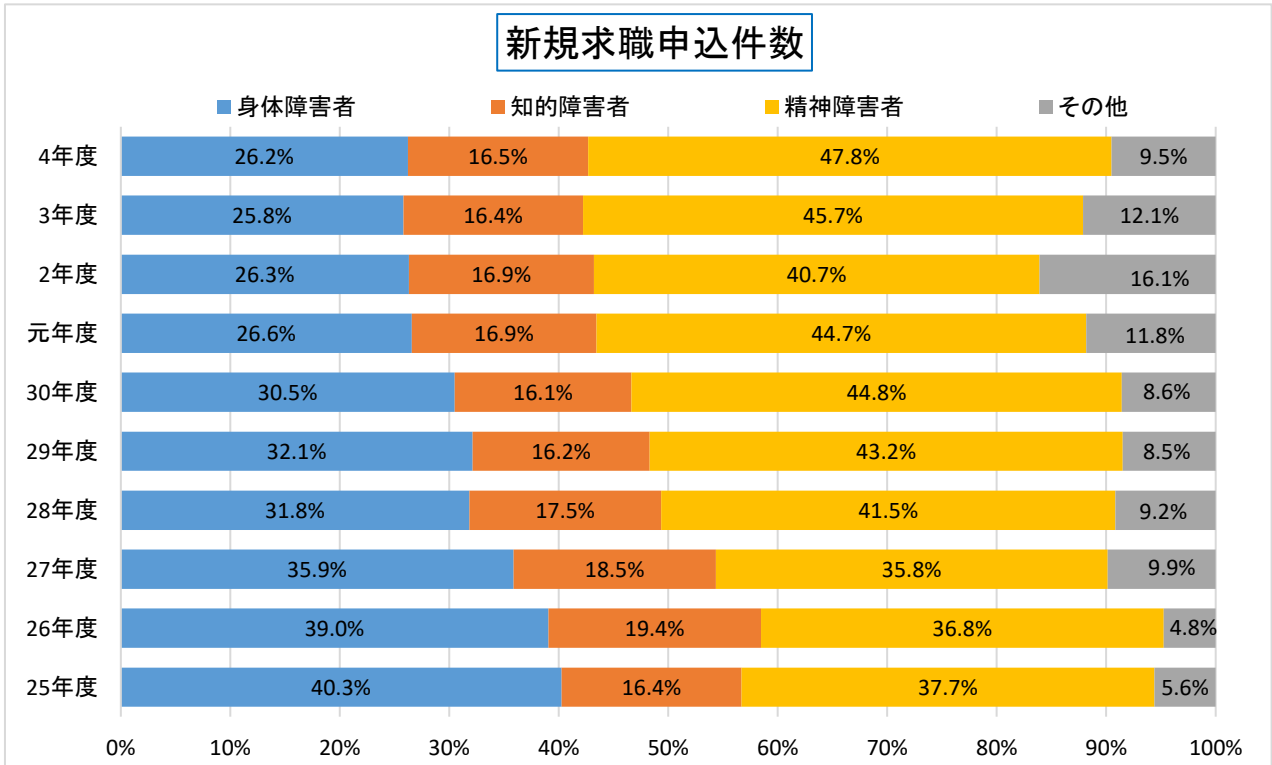
※2 「その他の障害」＝発達障害者、高次脳機能障害者、難治性疾患患者等

第6表 その他の障害者の内訳

	発達障害者	難治性疾患患者等	高次脳機能障害者	その他
新規求職申込件数	67	54	5	1
就職件数	26	23	1	1

※ その他：中毒精神病、器質性精神障害等

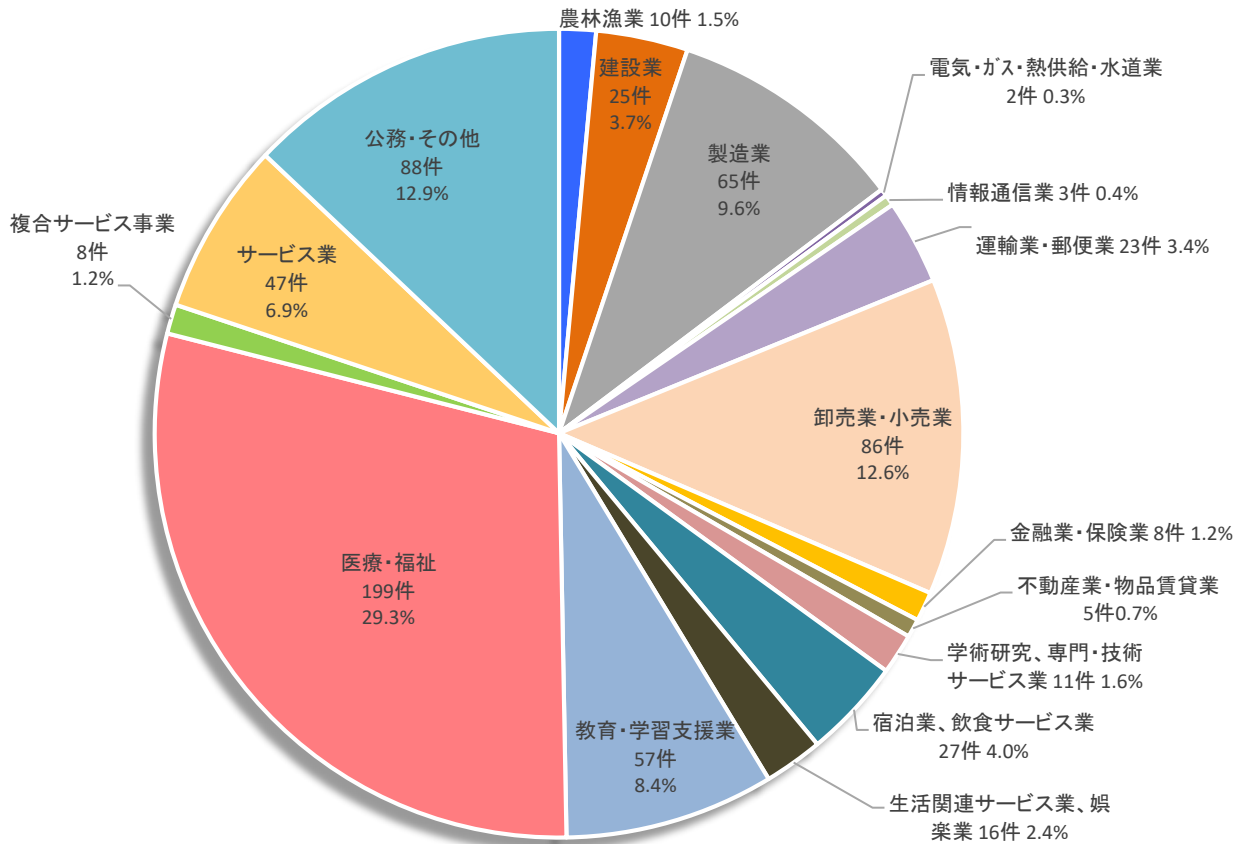
第5図 新規求職申込件数、就職件数における障害種別割合の推移（全数）



3. 産業別の就職状況（令和4年度）

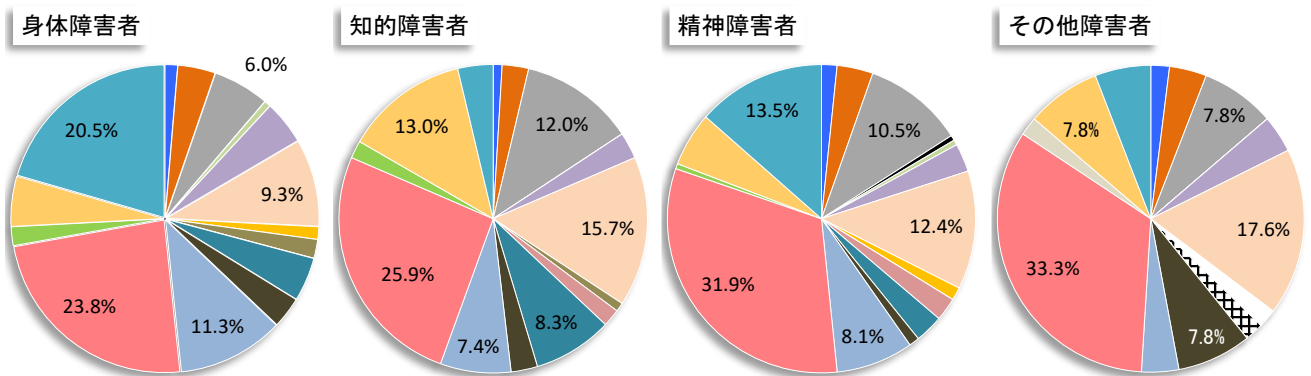
※ 数値は産業別の就職件数、構成比。

(1) 全体（第6-1図）



※本集計は小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

(2) 障害種別の状況（第6-2図）



※ 数値は産業別構成比（主な産業のみ表示）

〈産業別にみたときの特徴〉

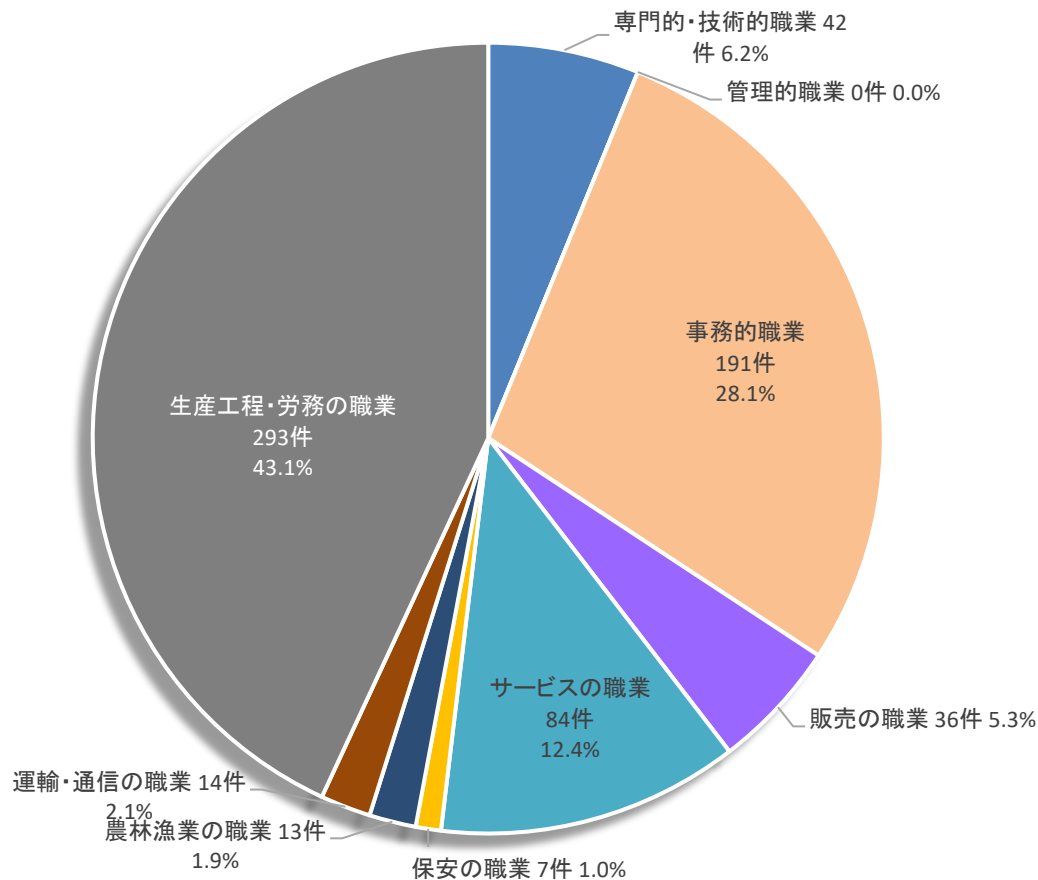
○産業別では、「医療・福祉」（199件、29.3%）、「公務・その他」（88件、12.9%）、「卸売業・小売業」（86件、12.6%）、「製造業」（65件、9.6%）の順で就職件数が多くなっている。

○障害者種別にみた場合もほぼ同様の状況であるが、知的障害者の「公務・その他」への就職件数は極端に少ない状態にある。

4. 職業別の就職状況（令和4年度）

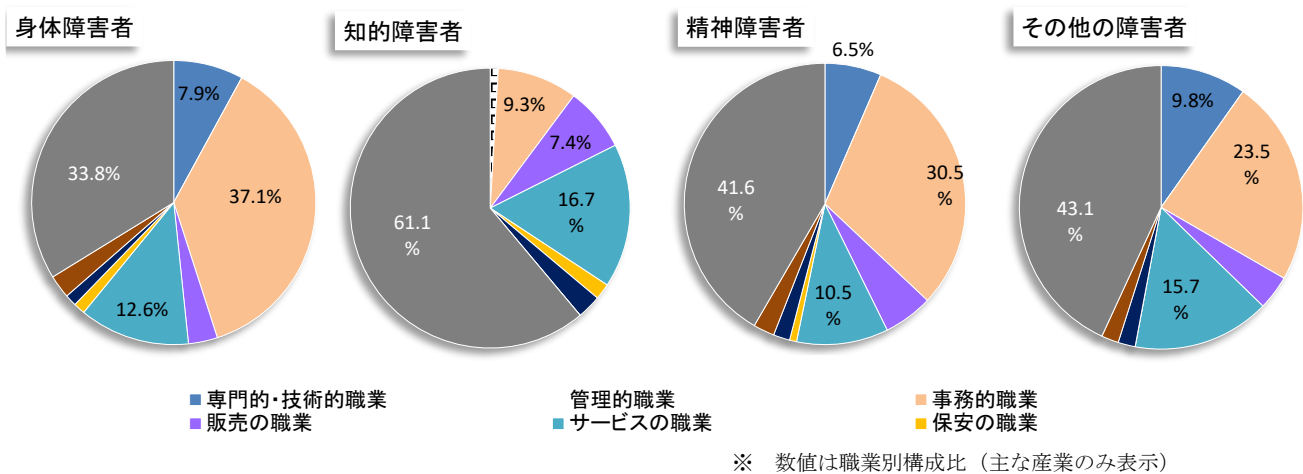
(1) 全体（第7-1図）

※ 数値は職業別の就職件数、構成比。



※本集計は小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合があります。

(2) 障害種別の状況（第7-2図）



〈職業別にみたときの特徴〉

○職業別では、「生産工程・労務の職業」(293件、43.1%)の割合が大きく、「事務的職業」(191件、28.1%)、「サービスの職業」(84件、12.4%)、「専門的・技術的職業」(42件、6.2%)が続いている。

○障害種別でみると、身体障害者では、「事務的職業」の割合が高く(56件、37.1%)、他の種別では、「生産工程・労務の職業」の割合が高く、知的障害者については(66件、61.1%)、精神障害者については(154件、41.6%)、その他の障害者については(22件、43.1%)となっている。

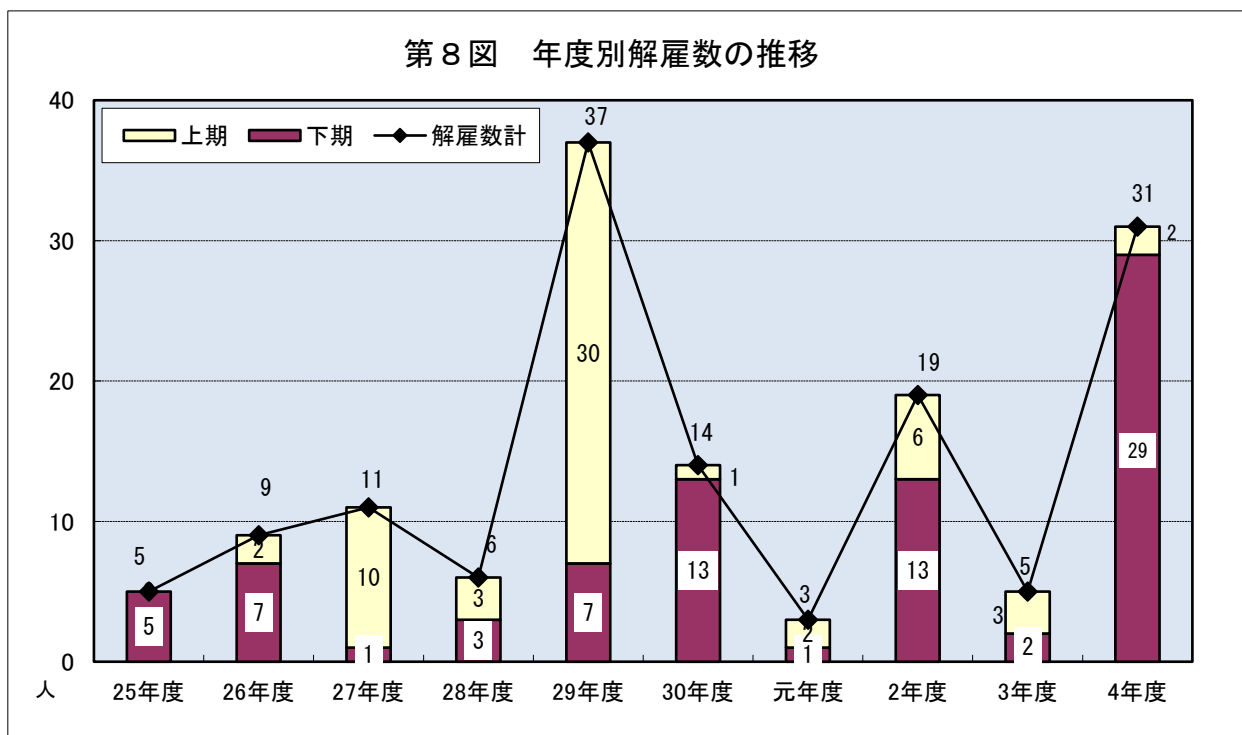
5. 障害者の解雇数

第7表 解雇数の推移

高知労働局

年 度	解雇数			障害種別					
	年 度 計	上半期	下半期	身体障害者		知的障害者		精神障害者	
				うち短時間	うち短時間	うち短時間	うち短時間		
平成25年度	5	0	5	2	0	3	0	0	0
平成26年度	9	2	7	5	0	4	0	0	0
平成27年度	11	10	1	3	1	7	0	1	0
平成28年度	6	3	3	0	0	5	1	1	1
平成29年度	37	30	7	9	7	16	13	12	10
平成30年度	14	1	13	4	3	6	1	4	2
令和元年度	3	2	1	2	0	0	0	1	0
令和2年度	19	6	13	7	1	6	3	6	4
令和3年度	5	3	2	4	0	1	0	0	0
令和4年度	31	2	29	4	4	15	15	12	11

第8図 年度別解雇数の推移



理由 月	理由			計	理由 月	理由			計
	事業廃止	事業縮小	その他			事業廃止	事業縮小	その他	
令和4年4月	0	0	0	0	令和4年10月	0	0	0	0
令和4年5月	0	0	0	0	令和4年11月	0	0	0	0
令和4年6月	0	0	0	0	令和4年12月	0	0	0	0
令和4年7月	0	1	1	2	令和5年1月	0	0	0	0
令和4年8月	0	0	0	0	令和5年2月	0	0	0	0
令和4年9月	0	0	0	0	令和5年3月	29	0	0	29